

湖西市市民活動に関する 実態調査

報告書

令和 3 年 12 月
湖西市

目次

I 調査の概要	2
II 調査結果の分析	4
III クロス集計分析及び考察	27
参考資料	34
参考資料 A：単純集計表	34
参考資料 B：調査票	47

I 調査の概要

I 調査目的

この調査は、湖西市内の市民活動団体を取り巻く状況や考えをお聞きし、今後湖西市が行う市民活動支援の参考とすることを目的に実施しました。

II 調査設計

調査対象：湖西市内で活動している市民活動団体（179団体）

- NPO法人（13団体）
- 湖西市民活動センター登録団体（15団体）
- 令和3年度湖西市文化の香るまちづくり補助金受託団体（3団体）
- 地縁団体（64団体）
- 社会福祉協議会登録ボランティア（50団体）
- 社会教育団体（34団体）

※重複した区分に属する団体は、いずれか1つの区分に分けて調査を依頼しました。

調査方法：【配布】

- 所在が判明している団体は郵送で行いました。施設に集まる団体については施設や団体の協力を得て、手渡しで行いました。

【回収】

- 郵送、施設窓口への持参、オンライン回答を併用しました。

調査期間：令和3年7月29日（木）～令和3年9月7日（火）

調査体制：本調査は、令和3年度湖西市市民活動推進業務の一事業として調査票の作成、送付の一部、回収、集計、報告書作成を業務受託者である特定非営利活動法人コラボりん湖西に委託して行いました。

調査実施責任者：湖西市市民課

調査結果集計者：特定非営利活動法人コラボりん湖西

調査結果分析、報告書作成者：特定非営利活動法人コラボりん湖西

（分析考察協力）

産業医科大学 産業保健学部教授

河村洋子

Ⅲ 回収結果

配布数：配布した179件の内、到達しなかった11件を差し引いた168件が実配布数でした。

回収数：129件（無効票2件）

有効回収数：127件

有効回収率：75.6%

※無効票とは、回収されたが無記入の調査票のことです。

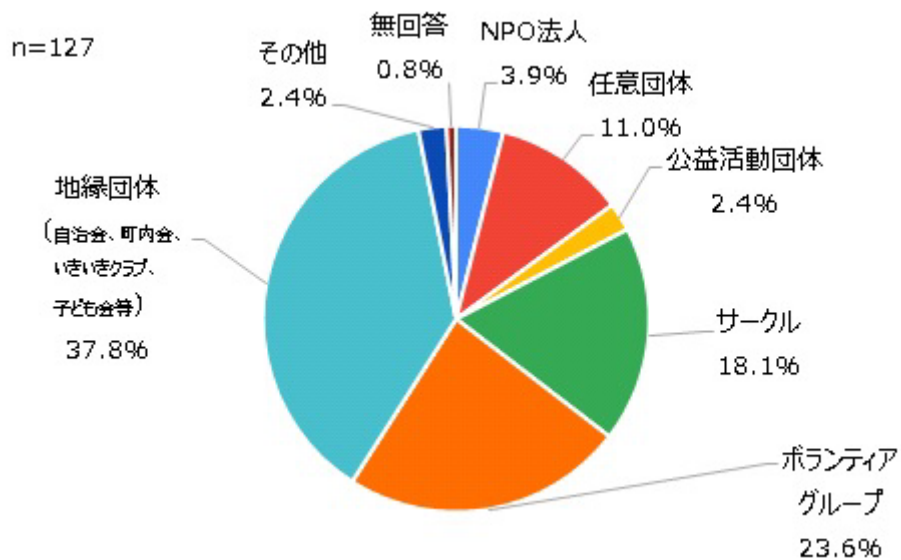
Ⅳ 報告書をみる際の注意事項

- ・サンプルサイズはnとして記載し、回答比率はこれを100%として算出しています。
- ・比率は百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

Ⅱ 調査結果の分析

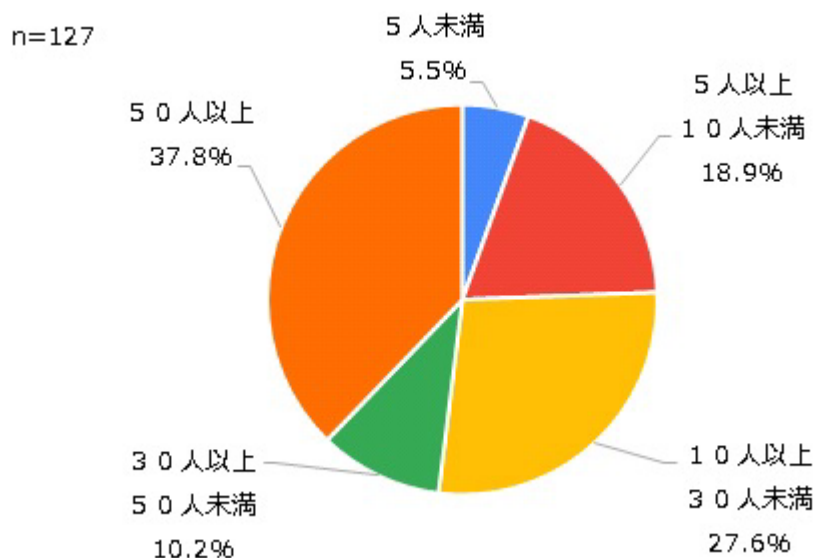
1. 団体について

問1. 団体の分類を教えてください（あてはまるもの1つを選択）



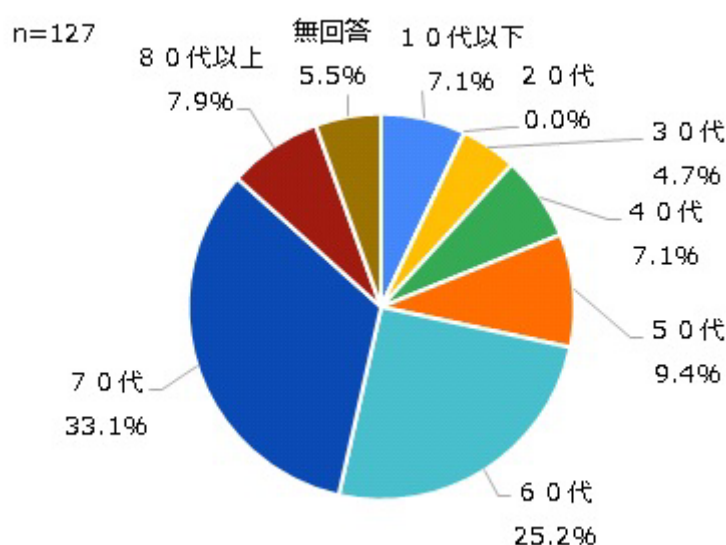
団体の分類については、「地縁団体」が 37.8%で最も多く、「ボランティアグループ」の 23.6%、「サークル」の 18.1%、「任意団体」の 11.0%がそれに続く。

問2．会員数を教えてください（あてはまるもの1つを選択）



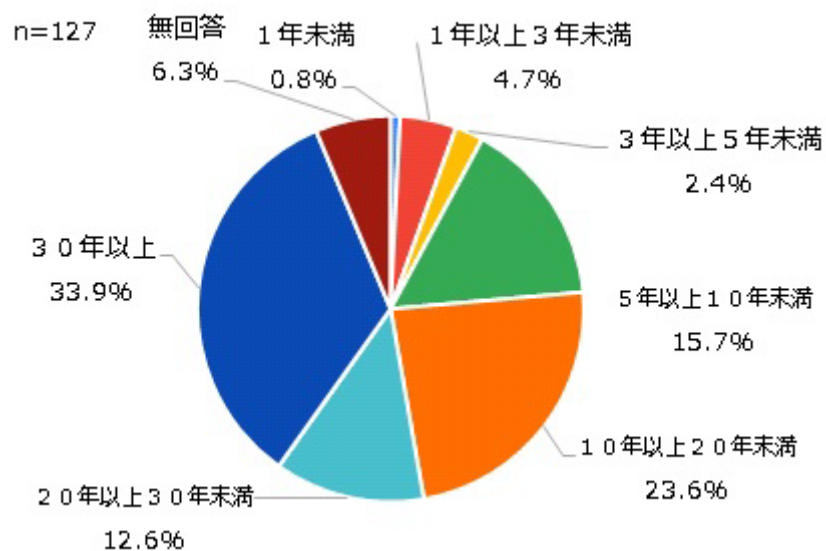
会員数については、「50人以上」が最も多く 37.8%、次いで「10人以上 30人未満」が 27.6%、「5人以上 10人未満」が 18.9%と続く。

問3．会員の中でもっとも人数が多い年代を教えてください（あてはまるもの1つを選択）



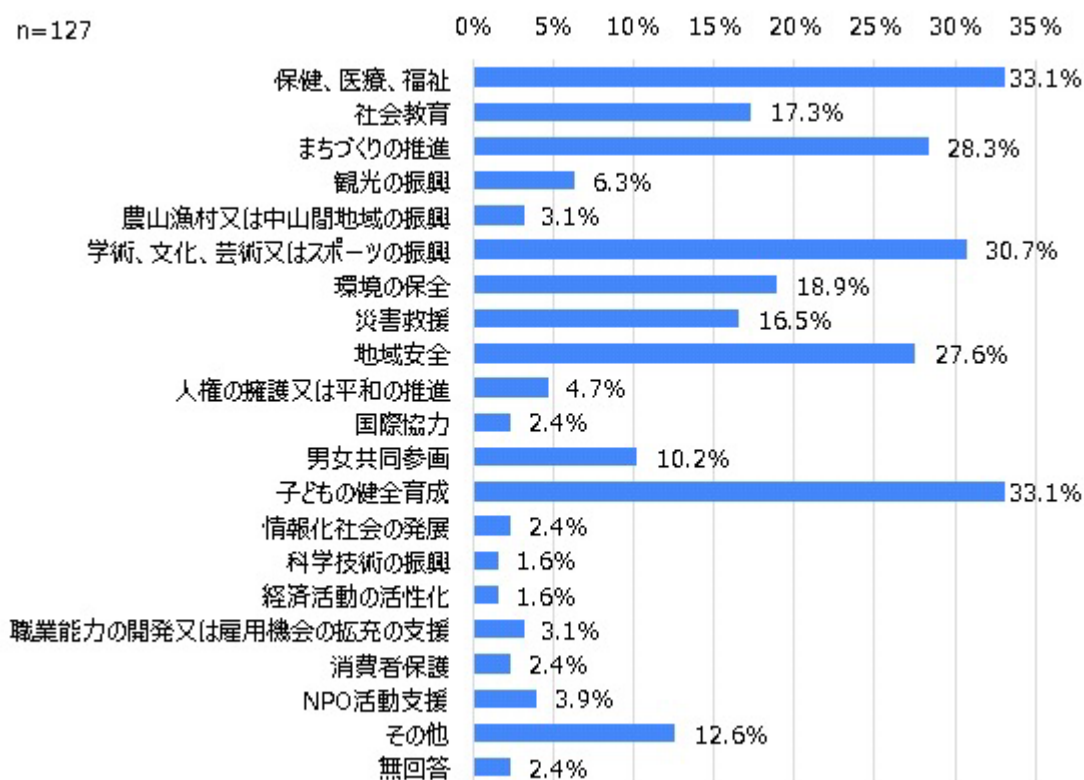
最も人数が多い年代として、33.1%が「70代」、25.2%が「60代」となっており、回答した団体の約6割弱を占める。次いで、「50代」が9.4%、「80代」が7.9%である。

問 4．活動を始めた時期を教えてください



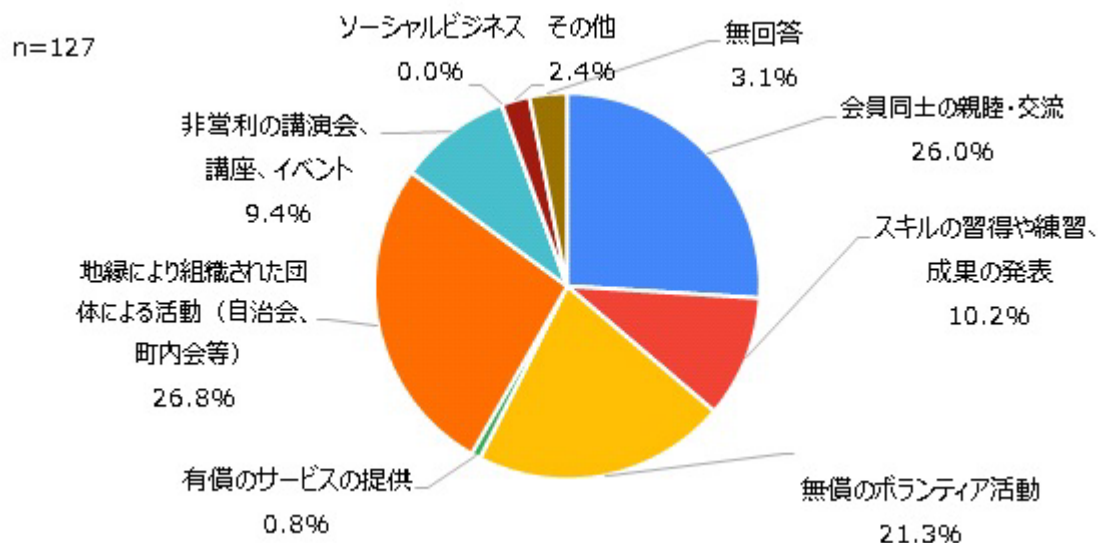
回答した団体の中で最も多いのは、「30年以上」で33.9%を占めるが、これは地縁団体が全体の3割以上を占め、その傾向を反映したものである。次に多いのは、「10年以上20年未満」で23.6%となっている。7割の団体が10年以上活動を継続している。

問 5. 活動の分野として当てはまるものはどれですか。(あてはまるもの全てを選択)



「保健・医療・福祉」と「子どもの健全育成」が 33.1%で最も多く、次に「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」30.7%、「まちづくりの推進」28.3%が続く。

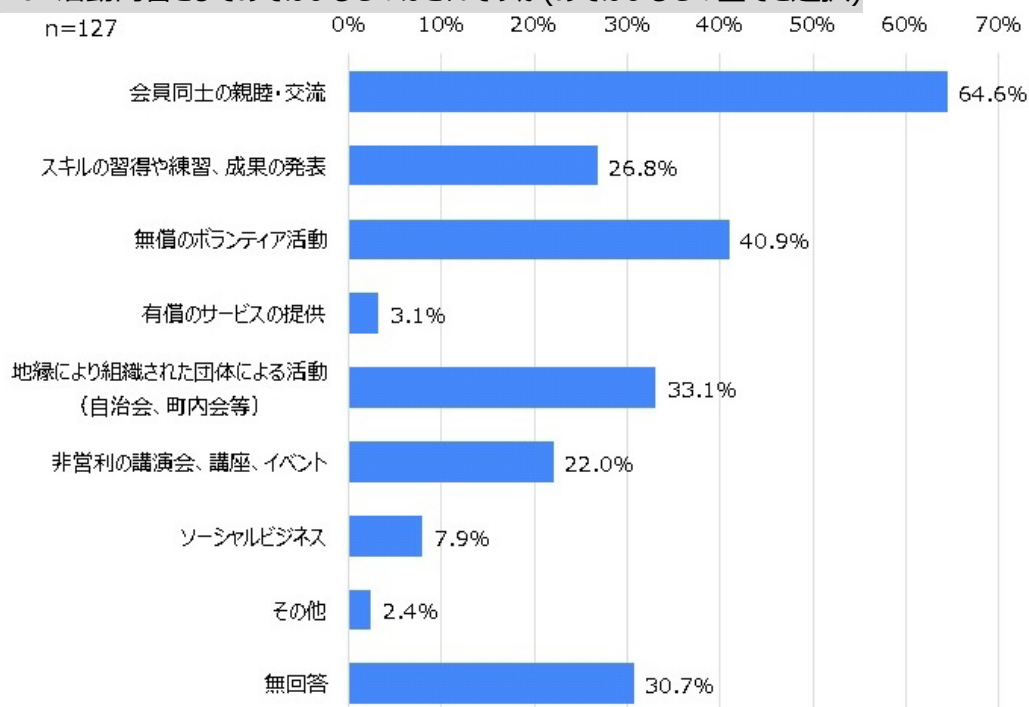
問 6 .a 活動内容としてあてはまるものはどれですか（主なものを1つを選択）



「地縁により組織された団体による活動」が 26.8%と最も多く、次いで「会員同士の親睦・交流」と 26.0%であった。これは回答した団体の 3 割以上が地縁団体であることを反映する回答である。一方、これを主な活動に選んでいない「地縁団体」がいることを示すことから、固定的な地縁活動には止まらないという認識を反映するものであろう。

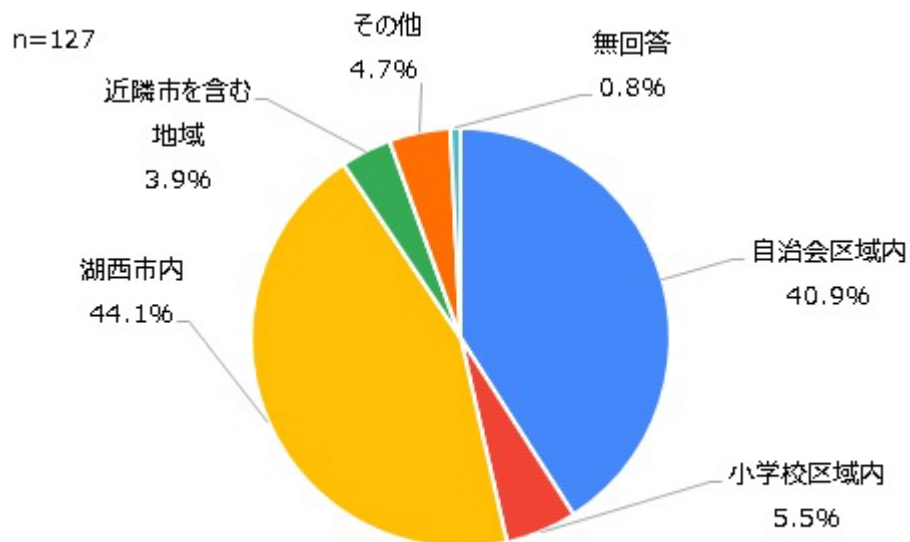
「無償のボランティア活動」も 21.3%と回答が多く、これもボランティアグループの回答を反映するものであるが、一方で、回答数がボランティアグループの数よりも少ないことから、主活動であるはずのボランティアだけでない意味（目的）があることを示している。

問 6 .b 活動内容としてあてはまるものはどれですか（あてはまるものを全てを選択）



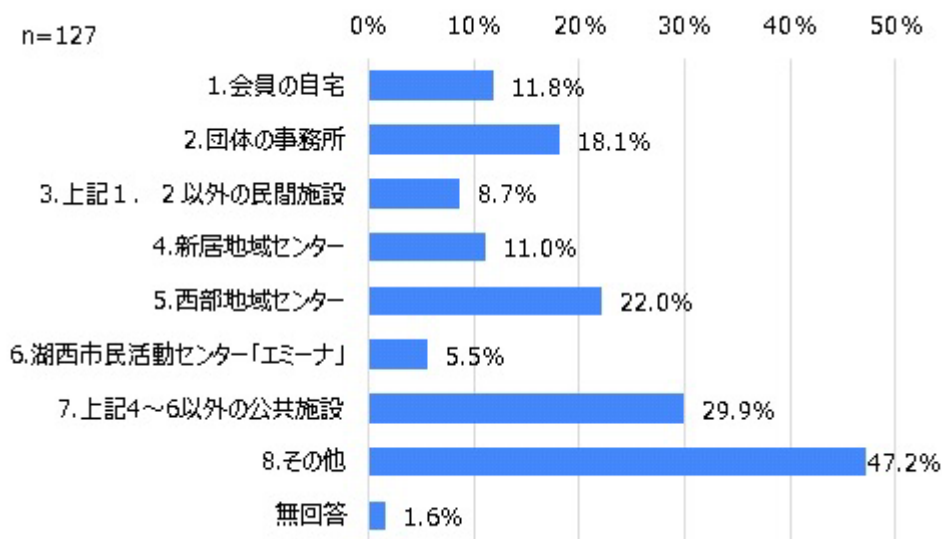
2. 活動場所について

問 7. 主な活動地域を教えてください（主なもの 1 つを選択）



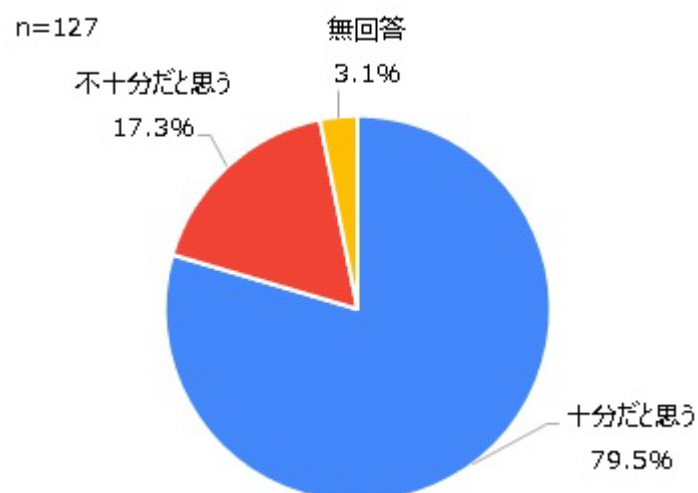
主な活動地域は、「湖西市内」が 44.1%、「自治会区域内」が 40.9%で、この両方で 8 割以上を占めている。

問 8. 活動で使用している施設や活動場所を教えてください（あてはまるもの全てを選択）



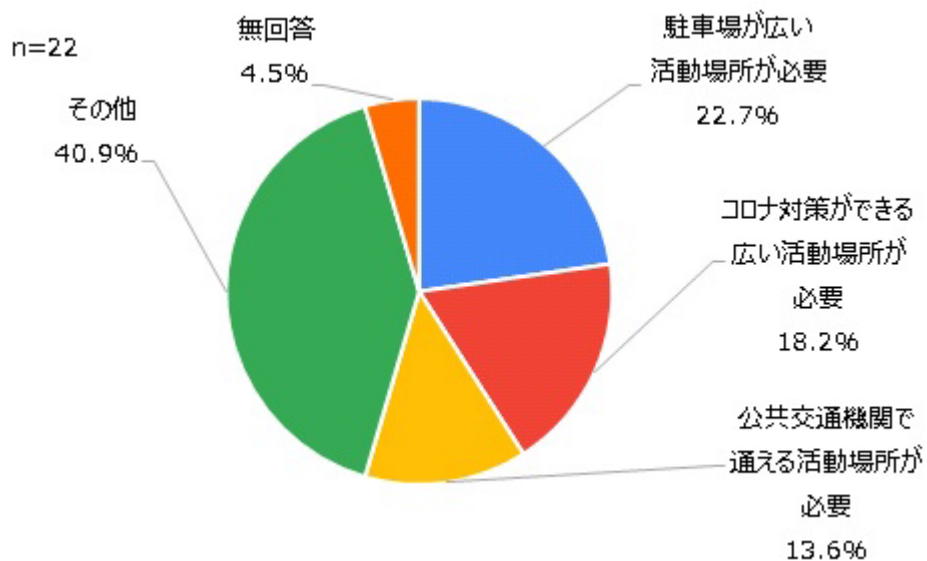
活動施設は、「その他」が 47.2%で最も多かった。「その他」の内訳では「自治会、町内会の施設」と回答した団体が最も多く、全回答の 35.4%を占めた。次いで多かった「上記 4～6 以外の公共施設」の内訳では「おぼと」が最も多く、全回答の 7.1%であった。

問 9.活動で使用している施設や活動場所は十分だと思いますか（1つを選択）



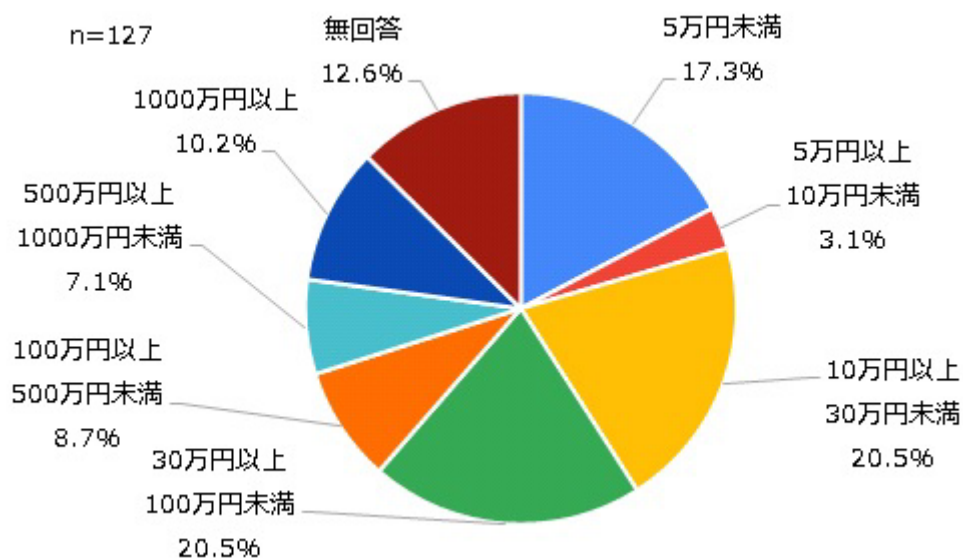
全体の 79.5%が「十分だと思う」という回答であった。

問 10. 問 9. で「2. 不十分」と答えた方にお聞きします。不十分だと思う理由を教えてください



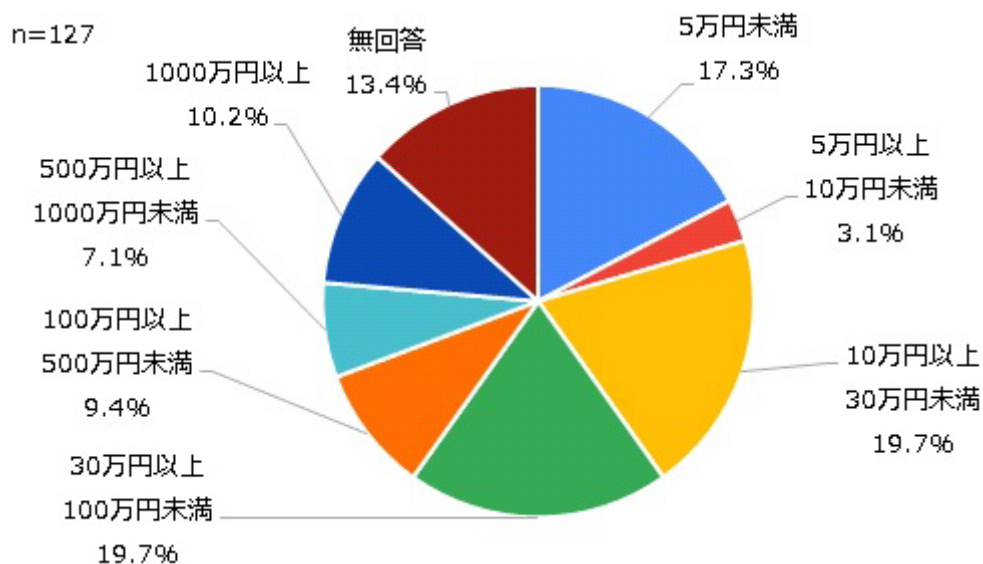
3. 活動資金について

問 1 1 a. 年間の概ねの事業予算（収入）を教えてください。



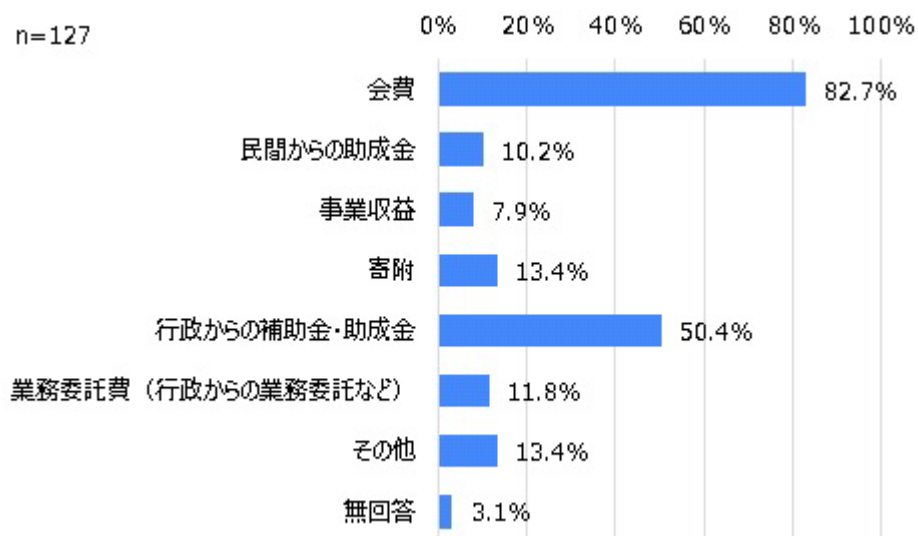
年間の事業予算（収入）は、「10万円以上 30万円未満」と「30万円以上 100万円未満」が20.5%で最も多く、「5万円未満」が17.3%と続いた。予算を回答した団体が110団体であり、また金額幅が非常に広く、平均は意味がないため算出しなかった。

問 1 1 b. 年間の概ねの事業予算（支出）を教えてください。



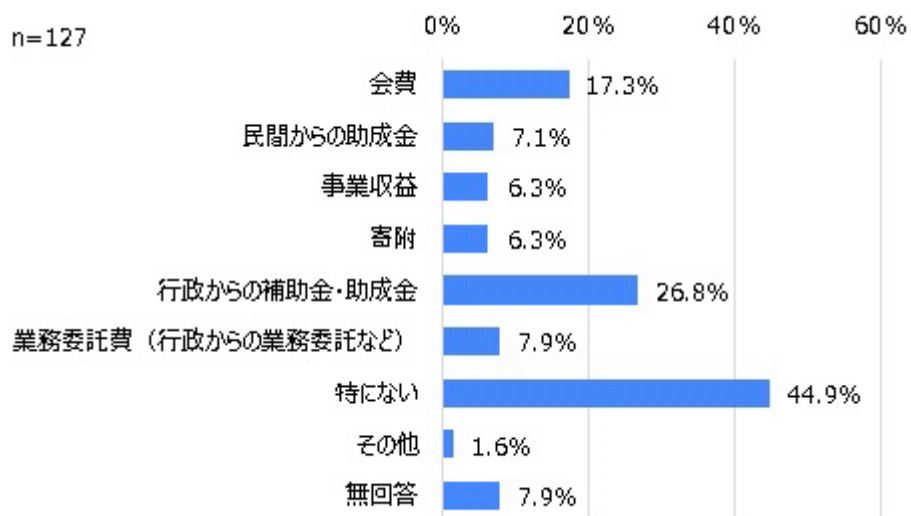
年間の事業予算（支出）は、「10万円以上 30万円未満」と「30万円以上 100万円未満」が19.7%で最も多く、「5万円未満」が17.3%と続いた。

問 1 2 . 団体の運営のための収入源を教えてください（あてはまるもの全てを選択）



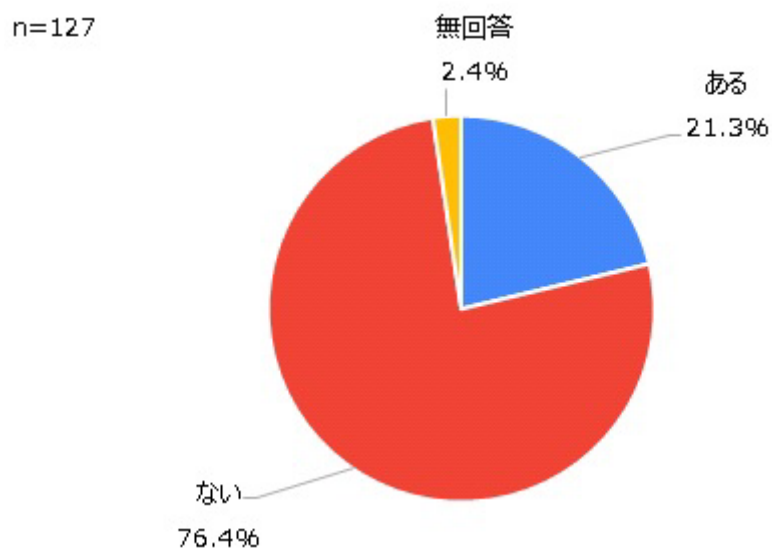
「会費」が 82.7%で最も多く、続くのは「行政からの補助金・助成金」50.4%であった。

問 1 3 . 今後、増やしていきたい収入源を教えてください（あてはまるもの全てを選択）

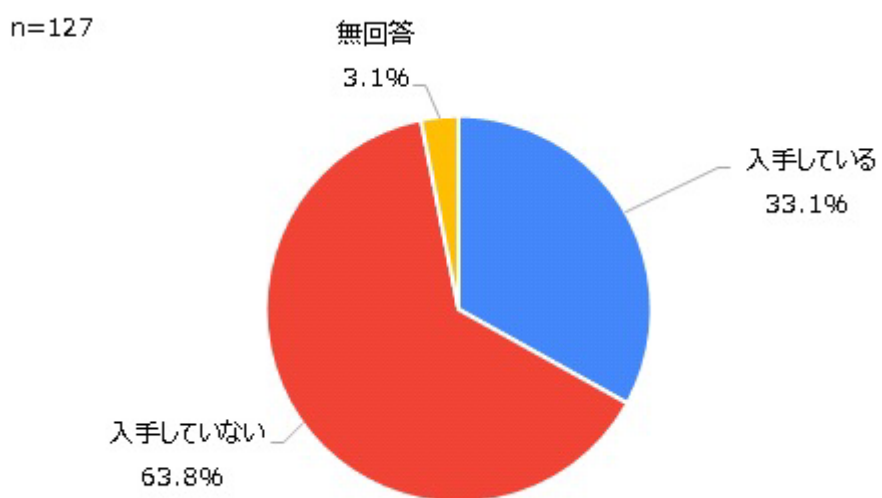


増やしていきたい収入源は、「特にない」が 44.9%で最も多かった。「行政からの補助金・助成金」が 26.8%、「会費」が 17.3%と続いた。

問 1 4 . 民間の助成金を申請したことがありますか（1 つを選択）

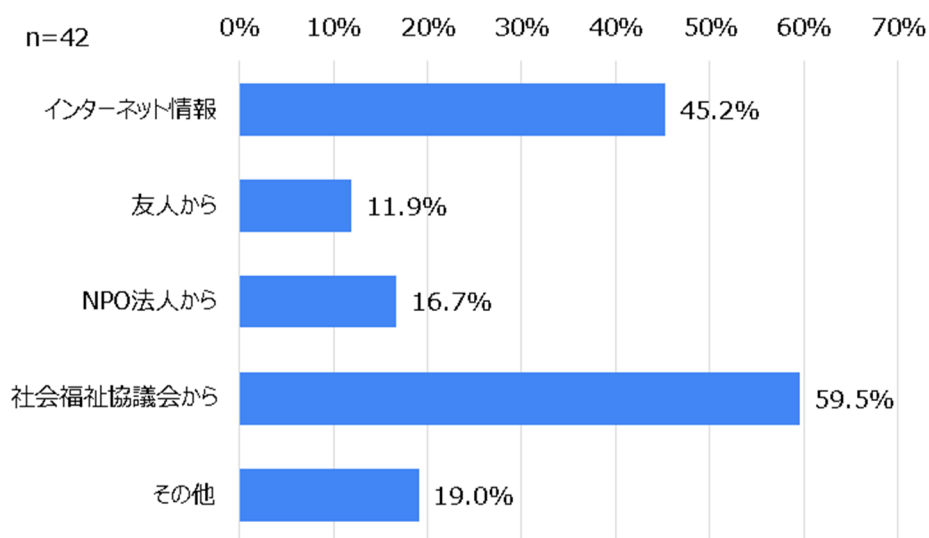


問 1 5 . 民間の助成金についての情報を入手していますか（あてはまるもの 1 つを選択）



民間の助成金の申請経験については、21.3%の団体が「ある」と回答。一方、情報を「入手している」団体は 33.1%であった。

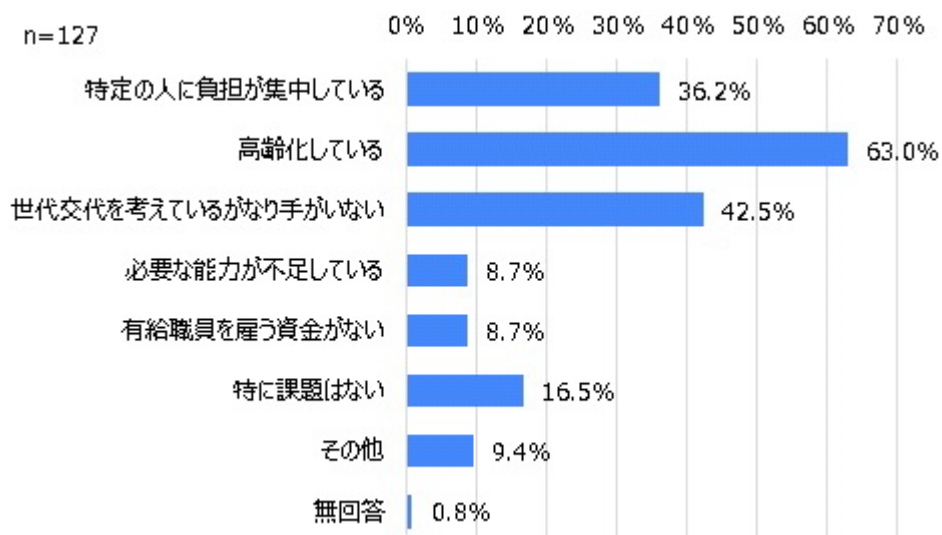
問16. 問15で「入手している」を選ばれた方は、どのように入手していますか（あてはまるもの全てを選択）



民間の助成金情報の入手先については、「社会福祉協議会から」が 59.5%で最も多く、「インターネット情報」が 45.2%、「NPO 法人から」が 16.7%、「友人から」が 11.9%であった。

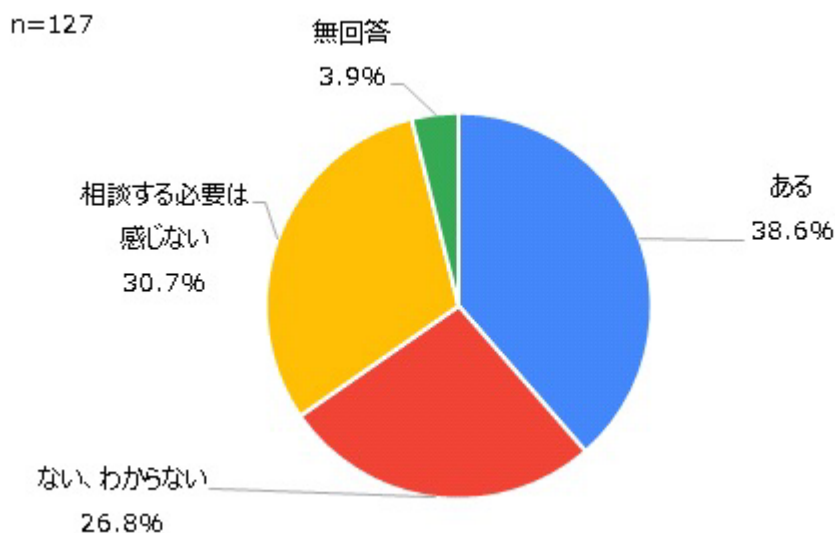
4. 活動の運営課題、工夫について

問 1 7. 活動の中心メンバーの現在の課題は何ですか（あてはまるもの全てを選択）



「高齢化している」が 63.0%と最も多かった。「世代交代を考えているがなり手がいない」42.5%、「特定の人に負担が集中している」36.2%と続いた。

問 1 8.a 団体の活動について困った時に相談に行くところがありますか（あてはまるもの 1 つを選択）



38.6%は困った時の相談先が「ある」と回答している。一方、課題がないわけではない（例えば、高齢化をあげる回答は多い）にもかかわらず、「相談する必要は感じない」という回答が 30.7%ある。

問 1 8.b 問 1 8.a で「ある」を選ばれた方は、差し支えない範囲で相談先を記入してください

- 前・元会長、前・元役員 (5)
- 湖西いきいきクラブ連合会事務局(3)
- 市役所(3)
- 自治会(2)
- スポーツ生涯学習課(2)
- 市民課(2)
- 地区連合自治会(2)
- 社会福祉協議会(2)
- 行政の担当者(2)
- 危機管理課(1)
- 健康福祉部 高齢者福祉課(1)
- 県の NPO 活動センター(1)
- これまでの活動で出会った他の活動団体（市内外）(1)
- 連合会(1)
- 湖西市商工会(1)
- 湖西文化協会(1)
- 行政(1)
- 組織の会長等(1)
- 市の行政窓口にご相談に行くが市職員は忙しい事の理由〔煩わしい事は対応しない〕で解決策の対応しない(1)
- 市外の先行している先輩方(1)
- 市民活動の先輩(1)
- 近隣の自治会(1)
- 先輩方々(1)
- 他組織(1)
- 団体本部(1)
- 役所関係(1)
- 湖西市議の方々(1)
- 顧問や歴代自治会役員経験者(1)
- 前 O.B.等(1)
- 市の所管部署(1)
- その他(2)

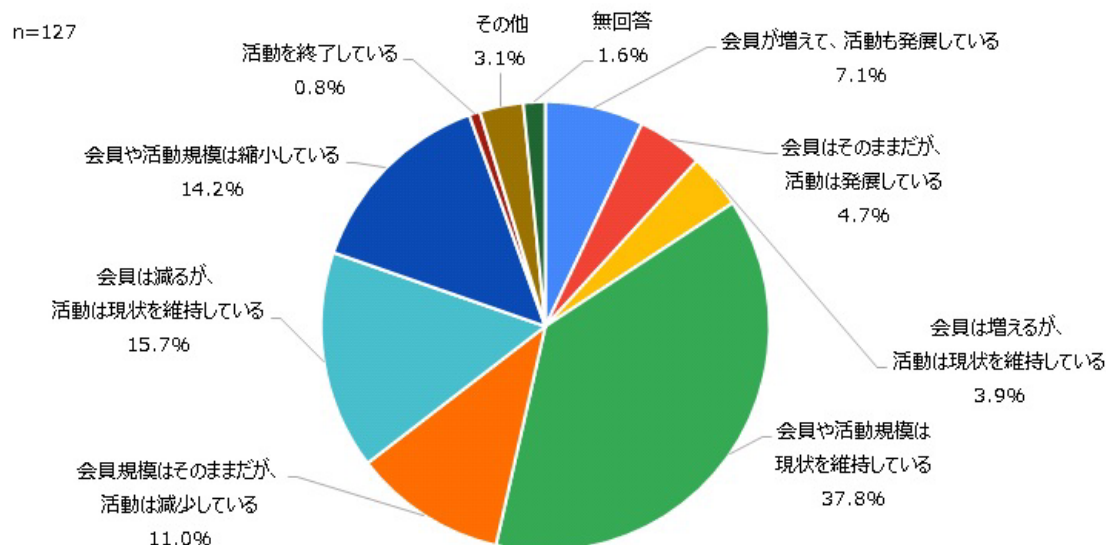
問 19. 団体の活動を進める中で、困っていること、必要なことがあれば教えてください

（私たちの団体だけに関わることはありませんが）市内に市民活動の概念を持つ人が育たないと、活動を始めたり支援したり、参加したりする人がなかなか増えて行かないのではないかと。市民活動で得られることはたくさんあるので、年齢や仕事のあるなし、会社員であるか学生であるかに関わらず気軽に地域活動に参加する土壌が醸成されていくといいと思います。
アパート居住者が自治会に入らない場合があり、災害時の情報伝達や日常生活のお知らせが伝えられない。避難場所としての公民館だが、十分な用具や備蓄品がそろっていない。少しずつでも充実させていきたい。
コロナウィルス感染防止のため会合がもてず、情報交換・共有がしばらく年 3 回のたよりの発行をしている。
コロナの中、休みにしているので、2 人の方が亡くなった。早くやれる様になって皆楽しい時が過ごせる様になりたい。
コロナワクチン接種の関係で「おぼと」の会場が使用できない状態がつづいているので会場探しが大変です。会場の予約が手書きで行っているが湖西市内どの施設もインターネット予約ができるようにしてほしい。
コロナ禍での活動の進め方
コロナ禍で活動が出来ない
コロナ禍により思う様に活動出来ない
コロナ禍で有るので行事の実行をどうするか
センター側で対応してくれているので良いが、以前センター使用時間が12:00になっていたのが、2年前に改正して11:00になった。料理教室の内容から11:00では作れない。以前の様に12:00としてほしい。
そもそもの会員が少ない
ピアノが常備されていて換気が良く広くて、使用料が安い練習場所が欲しい
ボランティア活動がどこも×と言っているとどこから進めてないのかわからない。市の方でこの施設から打ち合わせをして欲しいと決めて欲しい。
メンバーの補充がうまくいかない。新規メンバーがいらない。
会員（戸数）が減っている。戸数を増やす対策。
会員の移動（交通手段）
会員の高齢化
コロナに対応する行事
会員の減少、高齢化
会員の高齢化、後継者不足
会員の高齢化による安全確保
会員を増やしたいがなかなか増えない。県のグリーンバンクの助成金と個人の寄付で年間の事業費をまかなっているが、あと4年で助成金の申請期限が満了する。その後は湖西市から必要経費を支出して下さることを願っている。（苗代、肥料代、薬剤代など）
活動に必要な機器（パソコン・プリンター）等個人の物を使用しています。用紙、インク等は助成金で賄っていますが、今後活動する上でパソコンのない人でも活動に参加出来るようにして行きたいと考えます。

活動の広報
活動メンバーの加入数が少ない
活動を PR する場が少ない
活動をやめたいが、市の連合に抵抗され困っている。役員をみなやりたがらないので、会員同士が不仲になってしまっている。役員の負担を減らせるように、市は毎年同じことを委託せず、本当に必要なことか見直し、変化を嫌うことのないようにお願いしたい
活動資金の確保、事業実施に当たっての運営スタッフの確保
行政からの丸投げの事業やあて職の業務が多く役員の負担と責任が増加している。役員のなり手がなくなる。
公共施設の利用料金が 4 年前より高くなり、又、年齢による減免の制限が厳しくなった。団体の活動に影響が出ている。
高齢化が進み、会員減少。新規会員募集中
高齢化が進む中、役を受けてくれる人がいない。高齢化が進む中、会員数も維持するのに苦労しています。
自治会長のやり手がいらない 若い人の中に自治会に協力的で無い人がいる
若い人達が入らない。 おおむね 60 歳以上が会員として、活動する会であるが、80～90 才代前半の会員が少ない。（いない）このことから、支え合いながら活動していかなければならない会が体力的にも力のある若い層（支えることのできる人） がいらないため。事務仕事や支援活動が出来にくい。会でも対応検討中だが市の支援をおねがいしたい。
小学生の減少、高齢化、会員の減少。歌碑の建立に際し反対され、反対した地域エゴを感じた。
少子高齢化により、活動内容の変化が必要だが対応しきれていない。
地区では、高齢化が進み、1 人の暮らし方が増えています。コロナ禍での 1 人暮らしは、とてもつらいものと感じていますが、「居場所（社会福祉協議会が支援している地域の居場所）」も再開のめどがたちません。このような時、私達には何が出来るのでしょうか？
多くの方に活動を理解していただきたいと思っています。
地域公民館の建て替えを希望しているが、土地・費用の工面をどうしたら良いのか判らない。
地区の子供会(会長・副会長・会計)さんが他県から引っ越して来たり他の地域から来た人だったりして子供会の活動やお祭り、自治会の事を全く知らない中、毎回活動を始めるので分からない事だらけで大変。引き継ぎの時も前年度の資料が多く、アパートに住んでいる人にとっては保管場所が無く困っている方がいた。
適当な会議場所がない
当会の安定存続の要諦は若手の後継者にかかっている。 以前にも市ホームページ等を見て入会の申し出（30～40 代）4 人くらいあるも土日の活動ら対外活動（小中学校継続団体）用の資材作りが殆どのため平日は会社勤務等で参加不能のため退会してしまうので良い案を指導してほしい。

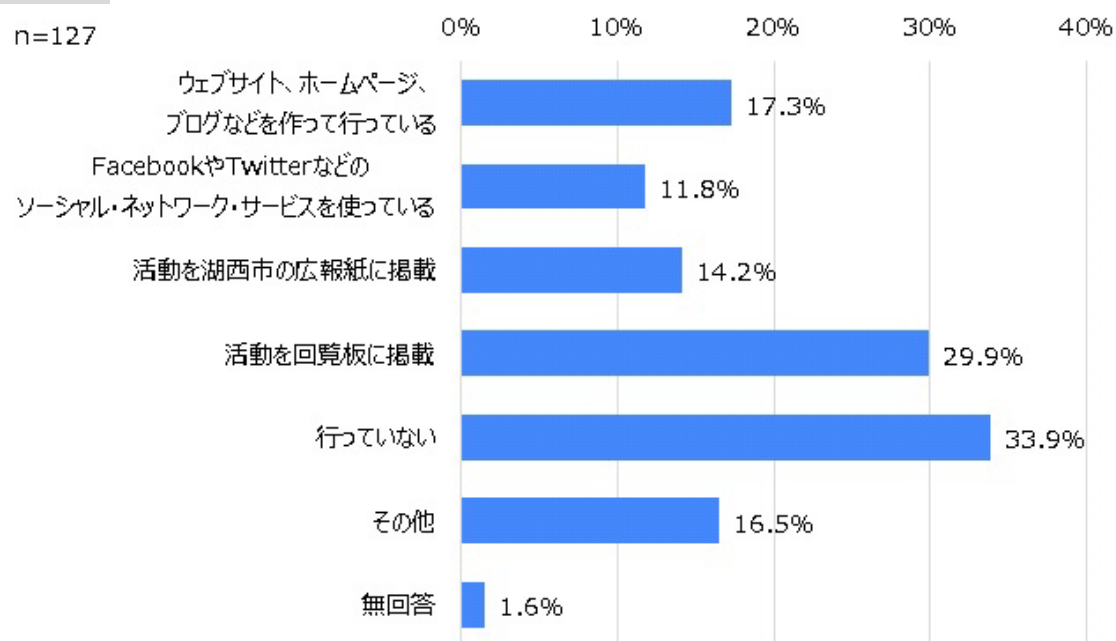
当会は概ね 60 才以上を会員として、活動しているが、75 才未満の年齢層が、まだ働いているなどの理由で入会をしづる人が多い。後期高齢者の会員をサポートする年代として必要としている、。個人に負担をかけないように組織化を検討している。自宅からイベント会場への交通手段も問題で参加できないから退会する。又単老を閉会する事に連なっている。対応を検討中。（事務仕事に不慣れな人が多く特にパソコンをつかえない年代なので、支援を頂けるとありがたい。）
今はコロナの関係で活動していません。
年間で日程を決め 2 名の講師依頼しているが、会場予約が 1 ～ 3 ヶ月前しか出来ず、その時になって会場確保が出来ないことが判明し、講師たちと再調整してから日程変更することがある。 その後、会員にも日程変更を知らせている。
働く母親がほとんどなので、活動の企画、運営は仕事をしながらだとつらい。仕事を休んで活動に参加しても無償。
防災意識が人により軽重がありすぎる。
役員のなり手がない。
役員の確保
役員の成り手に毎年苦労している。
役員決めが大変
役所の対応 市の職員は幹部から一般職員まで自分が困って居る事又調査をして行事があったら補助金を支給している団体にいろいろ求めるが・・・こちらからの相談事はなかなか対応しない体質が根深くある 行政改革が絶対必要 市の幹部はトヨタ方式の問題点の改善方式を勉強すべき。
利用者が少ない 必要な人は多いと思うが個人情報の問題で新しい利用者を知る手立てがない。

問 2 0 . 団体の今後について、どのように描いていますか（あてはまるもの 1 つを選択）



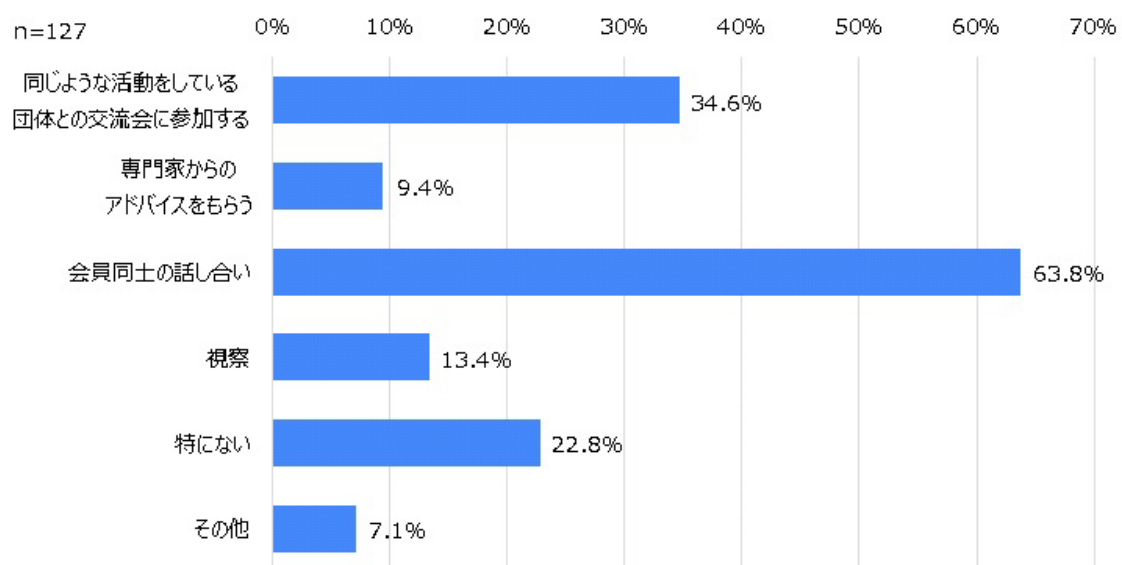
「会員や活動規模は現状を維持している」が 37.8%で最も多く、現状維持傾向がうかがえる。

問 2 1 . 団体の活動を知ってもらうための情報発信はどのようにしていますか（あてはまるもの全てを選択）



「行っていない」33.9%、「活動を回覧板に掲載」29.9%の順に多く、インターネットを介した情報発信は少ない傾向が読み取れる（「ウェブサイト、ホームページ、ブログなどを作って行っている」は 17.3%、「Facebook や Twitter などのソーシャル・ネットワーク・サービスを使っている」は 11.8%）。

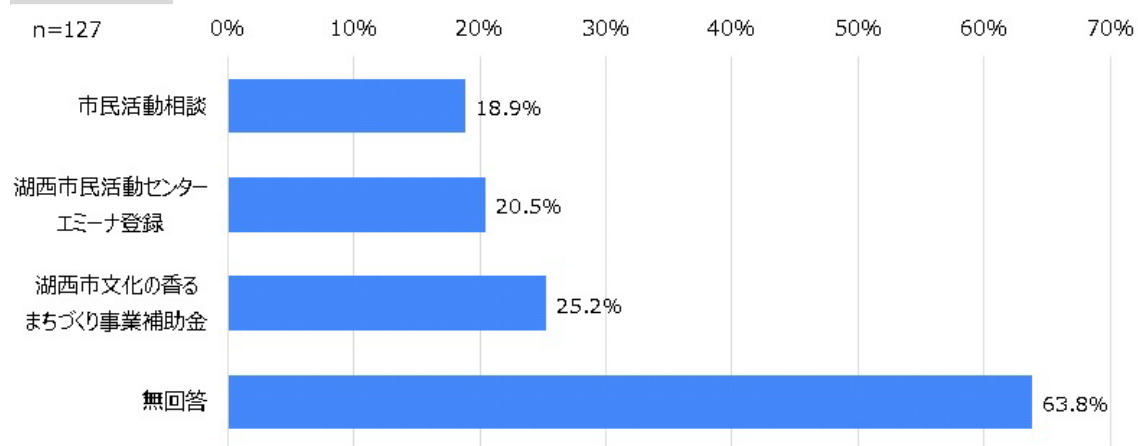
問 2 2 . 団体の活動をよりよくするために工夫していることがあれば教えてください（あてはまるもの全てを選択）



団体の活動をよりよくするための工夫では、63.8%が「会員同士の話し合い」と回答した。「同じような活動をしている団体との交流会に参加する」も34.6%あった。このことから、支援機会やサービスの認知度を高めるために、このような機会を活かすことができるのではないか。

5. 湖西市の市民活動推進施策について

問 2 3. 湖西市の市民活動推進施策について、知っているものを教えてください（あてはまるもの全てを選択）



3つの施策いずれも、認知度は2割～3割を割る程度と低めであった。湖西市文化の香るまちづくり事業補助金の認知度が若干高めである。

2 3 (1) . 市民活動相談について自由にご意見をお聞かせください。

相談窓口は今後必要だと思います。
アンケートの率直の意見を市長、又議会に直接報告し基本的な対応策の指示を受ける様にして欲しい。市の職員は自分の都合の悪い事は隠してしまい問題点が顕在化しない。
アンケートを取るよりボランティア活動の中へ入りどんな活動をしているかを調べた方が今後の活動に生かすと思う。
いつやっているのかなどの情報がない。しっかり情報公開すべき。(以前の場所は閉鎖されている) 平日の時間帯中心では市民活動の時間・曜日に対応できていない。
どこでやっているのか分からない。
どのような活動しているのかわからない窓口は何処でしょう？
わからない
会場使用料の値上げで会費が負担になっている。続けることがむづかしくなっている。
強いませんでした。いつどこで行っているか教えてください。
高齢者の団体としてどのように相談を持ち出せばよいのか、話題が違いすぎるようできっかけを教えてください。
市民活動についての効果的 PR の仕方を教えてもらいたい
資金援助活動を拡大して欲しい
自治会との会合増やす。手続きの簡素化。
障害がある児童・生徒の相談箇所が少ない。孤立化が心配。
障害のある児童・生徒の相談場所が無い。孤立してしまう事が心配です。
全く知らない。広報が弱い。
全く知らない。働いている人が多いので、平日のみの対応なら使用する事は無いと思う。相談したくても出来ないと思う。
相談窓口があることさえ知りませんでした。
知りません
聴覚障害者を中心としているサークルなので、情報が入りにくい面がある。出来るだけ、書面での情報をお願いしたい。
当団体は高齢化によって 15 名まで減少したが、長年の地道な活動の効果が、昨年までの 2～3 年で 23 名まで増がしたが、コロナ禍の為対外活動は殆どが休止中他団体との、協業を、模索している。

23 (2) . 湖西市民活動センターエミーナ登録について自由にご意見をお聞かせください。

(湖西市民活動センターエミーナ登録について) 申し訳有りません。意味が分かりません。
「エミーナ」って何ですか？
エミーナの使用は使いづらい。(用途、開館時間等) 代替としての公共施設(地域センター、協働センター他)の減免。印刷機の使用可はともありがたい。ただし、利用可能な時間帯、曜日は市民活動をする者にとって使いづらい。
エミーナ登録とは、どういうことか。メリット・デメリット、現状との違いがわからない。
ほとんどの活動が公民館で行われているのでエミーナ使用の必要性がありません。
わからない
主に、自治会関連配布資料の大量コピーが必要な時に、「エミーナ」の印刷機をよく利用させてもらっている。
活動場所としては、事前の鍵の受け取り等不便で利用していない。印刷も、社協を利用している。
活動状態がわからない。
活動申し込み門戸固い(気楽に活用出来るとよい)
拠点が新居のため利用が難しい
現在、登録していて施設設備を活用できありがたい
湖西市民活動センターエミーナ登録が何だかわからない
参加団体の活動について実際に参加調整して本当にしなためになっているか定期的に実施することによって活動について緊張感が高まるのでは無いか。
市民活動は小さな地域に根差しているものも多いのと、それぞれが生活圏に近い行きやすい施設があると思うので、市民活動に関する活動に最寄りの地域センターや公共施設も、エミーナと同要に使えるようすれば利用する団体は増えると思います。(各地域センター、子育て支援センター、図書館等も) そのための登録であればしたいと思う。
また、現在の市民活動は市内の人だけではなく、市外の人や知恵を借りて企画や実施をしている活動も多く、「利用者は市内在住者に限定します」という制限があると、利用が難しくなるのではないかと思いますし、市内外との交流人口・関係人口を増やしていくという流れともマッチしないのではないかと思います。
知らない
知りません
登録しています。しかし、印刷などの利用に平日夜や休日を設けて欲しい。
登録することによって、会議場所、コピーなど、非常に助かっています。
登録することのメリットを教えてください。
登録の仕方もどんなサービスを受けられるのかも分からない。
毎年お世話になっております。
全く知らない。広報が弱い。
良くわかりません

23 (3) . 湖西市文化の香るまちづくり事業補助金について自由にご意見をお聞かせください。

「文化」の範囲が不明
90 年（会として 40 年）に渡り地域の伝統芸能文化を守ってきたが、対象となっていない。市として後世まで守ってゆく、地域伝統芸能を地域遺産と認定し別建てで補助すべきである。
助成を受けている活動を知っている。
コロナにより、活動が縮小するため、コロナ中を乗り切るための「活動支援」をして頂きたい。
ずっと補助金の世話になっており、頼りにしている
とても良い施策だと思う
どんな活動したら補助金が出るのか分からない。初めて聞いたし、申請の仕方もわからない。
やらされ感が強い 文化交流へのサポートを充実して欲しい
よい制度だが、垣根（利用できる団体の人数など）が高くて残念。事業の活用事例をもっと広報すべき。
わからない
以前申し込んだことがあるのだが、職員の手違いで申請自体が無かったことになってしまったので、それ以降は行政に頼らないようにしている。
以前補助金申請をしましたが、継続して補助金を申請できない。幅広く活動を広めるためには、仕方のないことでしょうか。
何に使えるかわからない。
過去に助成を頂いた事が有る。
今後会員のメンバーと知って行きたいと思います。
市からの補助金はあるが会場使用料の値上げで、わがサークルは会計が苦しい。（月々の月謝を上げればいいのだが）それも考えもの。
申請団体が増えていないのであれば課題点を拾ってて内容を見直すことも必要ではないでしょうか。
段々会員も年を取って行くので早くコロナをなくし自由に活動出来る様にしてほしい。補助金より会場（老人施設）を自由に活用出来る事の方が先です。その後は補助金もおもう。
知らない
知りません
地区活動だけで精一杯で補助事業まで手が回らない。
当団体が利用するには、一時的な補助金では困る、プレゼンがあるのはハードルが高い。 しかし、会員の参加費のみで継続するのは、なかなか厳しくなりました。
当団体は長い間独立自尊を旨として事業資金は会員会費、寄付金、収益事業で全て調達してきた事業補助金助成は過去しがらみが多かったことら今でも敷居が高いと、感じる。
必要なし。廃止すべき。
補助金ありではなく、まずはいろいろなアイデアを提出していただき、湖西市の文化とのつながりを計るべきではないかと思います。

補助金の目的、実績、使用明細を公開し市民に活動効果を知らせて欲しい
補助金をと会計さんと話したこともありましたが、会費の中でやって行こうとなった。昼食代、おやつ代を会費の中でやっている。
補助金を受ける条件を幅広くしてほしいと思います。社会福祉事業に限って居るような感じです。
全く知らない。広報が弱い。

Ⅲ クロス集計分析及び考察

クロス集計分析では、【問 1.団体分類との関係】、【問 6.主要な活動内容との関係】、【問 11.活動資金との関係（支出規模）】でのクロス集計の結果を丁寧にみていくことをしました。

「1. 団体について（問 1～問 6）」「2.活動場所について（問 7～問 10）」「3. 活動資金について（問 11～問 16）」「4. 活動の運営課題、工夫について（問 17～問 22）」「5. 湖西市の市民活動推進施策について（問 23）」の調査項目ごとに、クロス集計分析結果並びにその過程で見えてきたことを考察及び提案として記します。異なる変数でクロス集計をしていますが、重複する内容もあります。

1. 団体について（問 1～問 6）の分析

(1) 【問 1.団体分類との関係】

◆ 会員数および年代（問 2,問 3）

- 【地縁団体】で会員数が 50 人以上が 80%以上である他は、規模および最も多い年代にばらつきが見られ、傾向を読み取ることができない。
- 年齢については、【ボランティアグループ】と【サークル】では 70 代以上、【地縁団体】では 60 代以上がもっとも多い年齢層であるという回答が多い傾向であり、高齢化の傾向が顕著であると思われる。

◆ 活動期間（問 4）

- 【NPO 法人】は 5 年以上 20 年未満の範囲であることがわかる。
- 【地縁団体】が長く活動している傾向である中に、「1 年以上 3 年未満」の比較的新しい団体が含まれている。

◆ 活動の分野（問 5）

- 【NPO 法人】に分野が多岐にわたる様子を読み取れる。
- また、【任意団体】は、「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」、「子どもの健全育成」の分野の回答が多い。
- 【公益団体】は「保健・医療・福祉」、【サークル活動】は「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」、【ボランティアグループ】では「保健・医療・福祉」、【地縁団体】は、「まちづくりの推進」、「地域安全」、「子どもの健全育成」の回答が多いが、これらはそれぞれの団体分類の活動イメージと合致するものであると言える。

◆ 主要な活動内容（問 6）

- 「無償のボランティア活動」の回答数がボランティアグループの数よりも少ないことから、主活動であるはずのボランティアだけでない意味（目的）があることを示している。これらの傾向は、団体分類による回答の様子からもわかり、【地縁団体】で「会員同士の親睦・交流」の回答が 23%、【ボランティアグループ】で数は少ないが、「会員同士の親睦・交流」「スキルの習得や練習、成果の発表」「非営利の講演会、講座、イベント」の回答がある。

(2) 【問 6.主要な活動内容との関係】

◆ 年代（問 3）

- 無償のボランティア活動（以下、【ボランティア活動】）の一番多い世代は「70 代」である。
- 非営利の講演会、講座、イベント（以下、【講演会などの活動】）の最も多い世代は「60 代」である。
- 会員同士の親睦・交流（以下、【親睦交流活動】）は、60 代～80 代までがそれぞれ 25%程度あることから、高齢者中心の活動であることがわかる。
- 地縁により組織された団体による活動（以下、【地縁団体活動】）では「10 代」、「40 代」が他の活動内容と比較して割合が高く、それぞれ 10%程度である。

◆ 活動期間（問 4）

- 【親睦交流活動】、【地縁団体活動】を行う団体による活動は歴史が長い。

◆ 活動の分野（問 5）

- 【親睦交流活動】を行う団体では「保健・医療・福祉」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」、「子どもの健全育成」が多く選ばれており、文化的活動やスポーツを通して交流をしている様子を伺うことができる。
- 【ボランティア活動】を行う団体では、「保健・医療・福祉」に関する内容が活発に行われている様子である。
- 【地縁団体活動】を行う団体には「まちづくりの推進」、「地域安全」、「子どもの健全育成」を対象にするものが多い様子である。

(3) 【問 11.活動資金との関係（支出規模）】

◆ 団体分類（問 1）

- 「NPO 法人」、「地縁団体」の予算規模が大きい傾向を読み取れる。
- 一方、「ボランティアグループ」は予算規模が小さい。

◆ 活動の分野（問 5）

- 予算規模が大きくなると、活動の分野が多岐にわたる傾向を読み取れる。

2. 活動場所について（問 7～問 10）の分析

（1）【問 1.団体分類との関係】

- ◆ 主な活動地域（問 7）
 - 概ねが湖西市内の範囲である。
- ◆ 活動で使用している施設や活動場所について（問 9）
 - 【ボランティアグループ】の「不十分である」という回答が 20%ある。

3. 活動資金について（問 11～問 16）の分析

（1）【問 1.団体分類との関係】

- ◆ 年間の事業予算（問 11）
 - 【NPO 法人】の年間の事業予算の平均（2,810 万円）が最も多く、次いで【地縁団体】（600 万円）であった。
- ◆ 団体の運営のための収入源（問 12）
 - 【NPO 法人】は多岐にわたる収入源を持つ様子がわかる。それ以外の団体分類では、「会費」と「行政からの補助金・助成金」が活動資金の財源となっている様子を読み取れる。
- ◆ 増やしていきたい収入源（問 13）
 - 全体として「特になし」という回答が多い中で、【NPO 法人】は「事業収益」、【任意団体】【ボランティアグループ】【地縁団体】は「行政からの補助金・助成金」の回答が多いことがわかる。NPO 法人に事業の展開に関してサポート（ソーシャル・ビジネスの展開など）、また助成支援や、より効果的に活動できるようにする助成制度の創設が必要と思われる。
- ◆ 民間の助成金申請とその情報源（問 14,問 16）
 - 民間助成金の申請は【NPO 法人】で活発にされており、【任意団体】においても 50%程度の申請経験がある。全体の傾向からもわかるように、一部は情報を得ている様子が伺える。申請までのガイドがあると良い。
 - 情報源では、【ボランティアグループ】は「社会福祉協議会」から情報を得ているが、【NPO 法人】はインターネットなどの別の情報源を有し、そのかわり「社会福祉協議会」からの情報入手はない。社会福祉協議会と NPO 法人が繋がり、NPO 法人にも有用な情報の入手や提供をできるようにしてはいいかがか。

(2) 【問 6.主要な活動内容との関係】

◆ 年間の事業予算（問 11）

- 最も大きい事業予算平均は、【講演会などの活動】を行う団体であった。次に大きかったのは【地縁団体活動】を行う団体であった。

◆ 団体の運営のための収入源と増やしていきたい収入源（問 12,13）

- 収入源として、【ボランティア活動】と【講演会などの活動】を行う団体を除いて、90%以上が「会費」を選択しており、多くの団体において主要な活動資金となっている様子である。
- 【ボランティア活動】を主要な活動としている団体の 36%が「行政の補助金・助成金」を選択している。また、【地縁団体活動】を行う団体でも 91%が選択しており、重要な活動資金になっている様子がわかる。
- 【講演会などの活動】を行う団体では、「事業収益」を活動資金に充てている割合が、全体の回答割合と比較して高い傾向にあった。
- 今後増やしていきたい収入源として、スキルの習得や練習、成果の発表（以下、【スキル習得などの活動】）を行っていると回答した団体では「会費」の回答が多いこと、また【講演会などの活動】を行っていると回答した団体では「業務委託」の回答が多いことが顕著である。
- 一方、【親睦交流活動】、【ボランティア活動】、及び【地縁団体活動】では「特にない」という回答が多く、いずれも 50%前後を占めている。

◆ 民間の助成金申請とその情報源（問 14,問 15,問 16）

- 民間の助成金申請経験は少ない中で、【講演会などの活動】を主に行うと回答した団体では、50%が申請経験が「ある」と回答している。
- 民間助成金についての情報を積極的に入手している割合が多いのは、【ボランティア活動】や【講演会などの活動】を行っている団体である。
- 情報源については、【ボランティア活動】を行っている団体では「社会福祉協議会」、【講演会などの活動】を行っている団体では複数の情報源を利活用している（「インターネット」、「友人」、「NPO 法人」など）。

(3) 【問 11.活動資金との関係（支出規模）】

◆ 民間の助成金申請とその情報源（問 14,問 15）

- 情報を入手していても申請していないことも読み取れるため、申請の指南、サポートを提供することで、実際の助成申請を増やせるのではないか。

4. 活動の運営課題、工夫について（問 17～問 22）の分析

（1）【問 1.団体分類との関係】

◆ 活動の中心メンバーの現在の課題（問 17）

- 【任意団体】で「特定の人に負担が集中している」「高齢化している」「世代交代を考えているがなり手がいない」、【公益活動団体】で「特定の人に負担が集中している」、【ボランティアグループ】で「高齢化している」、【地縁団体】で「特定の人に負担が集中している」「世代交代を考えているがなり手がいない」という回答が全体の回答割合と比較して高い傾向にあった。特定の人に負担が集中、世代交代できないというような課題に対しては、組織マネジメントの観点による手法が有用であり、団体の存続や活動の維持または改善や発展を団体自身が意図し、周囲が期待するなら、組織マネジメントの視点を備えてもらう機会も有用と提案する。

◆ 困った時の相談先（問 18）

- 全体としても「課題がある」と回答しているにもかかわらず「相談する必要性を感じない」という回答が 3 割程度あるが、特に、【サークル】では高めの傾向が見られる。

◆ 団体の今後について（問 20）

- 【NPO 法人】はポジティブな回答（会員数増加と活動の活発化）が多めである。それ以外の団体は現状維持または減少・縮小傾向の像を描いている傾向が若干強い。

◆ 情報発信手段について（問 21）

- 【NPO 法人】は複数メディアを使用しているが、広報紙への掲載はしていない。
- 【公益活動団体】及び【サークル】については「行っていない」割合も高いことから、市民活動に関する情報発信をより活発にしていくことで、活動の活性化を後押しできるのではないかと。このような観点から「情報発信」にメディアを多用することを促す学習機会を提供しても良い。ただし座学だけだと「絵に描いた餅」になるので、アクションを伴う構成が望ましい。

(2) 【問 6.主要な活動内容との関係】

- ◆ 活動の中心メンバーの現在の課題（問 17）
 - 「高齢化している」ことは有償サービスの提供活動（以下、【有償サービスの提供活動】）を主に行うと報告する団体を除いて、共通した状況のようである。
 - その他の特徴としては、【地縁団体活動】と【講演会などの活動】を行う団体では、「特定の人に負担が集中している」と「世代交代を考えているがなり手がいない」状況であることの報告が多い点がある。
 - 一方、【親睦交流活動】および【スキル習得などの活動】を行う団体群では、20%程度が「課題はない」と報告している。
- ◆ 団体の今後について（問 20）
 - 回答の傾向を見てみると、いずれも会員数（活動するメンバー数として読み取れる）が現状維持または減少傾向であっても、活動を維持することができていると予測している。
- ◆ 情報発信手段について（問 21）
 - インターネットを活用している様子を伺うことができるのは、【講演会などの活動】を報告した団体群であった。【スキル習得などの活動】を報告した団体に若干の活用傾向が見られるが、その他の団体は、湖西市の広報紙や回覧板の掲載が主流となっていると思われる。
- ◆ 団体の活動をよりよくするための工夫（問 22）
 - どの団体も会員同士の話し合いを行っている様子を読み取れる。次に実施の報告が多かったのは同じような活動を行っている団体との交流であり、【有償サービスの提供活動】を除くいずれの活動を行っている団体群でも、約 30～40%程度が実施していると報告している。

(3) 【問 11.活動資金との関係（支出規模）】

- ◆ 活動の中心メンバーの現在の課題（問 17）
 - 予算規模が大きくても、「特定の人に負担が集中している」という課題があることから組織マネジメントの視点を備えてもらう機会も有用と提案する。
- ◆ 情報発信手段について（問 21）団体の活動をよりよくするための工夫（問 22）

【30 万円以上 100 万円未満】、【1,000 万円以上】でインターネットを活用した情報発信を積極的に行っている様子がわかる。前者は任意団体、後者は NPO 法人が引っ張っている様子であり、ボランティアグループや、予算規模の大きな地縁団体では情報発信や工夫にあまり積極的ではなく、専門家のアドバイスの利用も少ないと推測される。

5. 湖西市の市民活動推進施策について（問 23）の分析

（1）【問 1.団体分類との関係】

- 【NPO 法人】からの認知度はいずれの施策でも高く、【任意団体】では、「湖西市民活動センターエミナ登録」「湖西市文化の香るまちづくり事業補助金」の認知度がやや高めの傾向であるが、他の団体分類ではいずれの施策も知られていない様子がわかる。

（2）【問 6.主要な活動内容との関係】

- 全体としては、「湖西市文化の香るまちづくり事業補助金」の認知度が若干高めの様子である。また、【講演会などの活動】を行っている団体群では「湖西市民活動センターエミナ登録」の認知度が他の群と比較して高い。

（3）【問 11.活動資金との関係（支出規模）】

- 予算規模が【1,000 万円以上】の団体からの認知度が高い。
- 認知度が高くなると、分野横断的な接点を増やし、情報が行き届きやすくなるので、認知度の向上とともに、そのような多分野の交流による活性化を狙った活動の展開を期待したい。

参考資料

参考資料 A：単純集計表

問 1. 団体の分類を教えてください（あてはまるもの 1 つを選択）	実数（件）	%
1. NPO 法人	5	3.9%
2. 任意団体	14	11.0%
3. 公益活動団体	3	2.4%
4. サークル	23	18.1%
5. ボランティアグループ	30	23.6%
6. 地縁団体（自治会、町内会、いきいきクラブ、子ども会等）	48	37.8%
7. その他（以下） ・自治会但し地縁団体にはなっていない(1) ・自助グループ(1) ・団体名記載(1)	3	2.4%
無回答	1	0.8%
総計	127	100.0%

問 2. 会員数を教えてください（あてはまるもの 1 つを選択）	実数（件）	%
1. 5 人未満	7	5.5%
2. 5 人以上 10 人未満	24	18.9%
3. 10 人以上 30 人未満	35	27.6%
4. 30 人以上 50 人未満	13	10.2%
5. 50 人以上	48	37.8%
総計	127	100.0%

問 3. 会員の中でもっとも人数が多い年代を教えてください （あてはまるもの 1 つを選択）	実数（件）	%
1. 10 代以下	9	7.1%
2. 20 代	0	0.0%
3. 30 代	6	4.7%
4. 40 代	9	7.1%
5. 50 代	12	9.4%
6. 60 代	32	25.2%
7. 70 代	42	33.1%
8. 80 代以上	10	7.9%
無回答	7	5.5%
総計	127	100.0%

問 4. 活動を始めた時期を教えてください	実数 (件)	%
1. 1 年未満	1	0.8%
2. 1 年以上 3 年未満	6	4.7%
3. 3 年以上 5 年未満	3	2.4%
4. 5 年以上 1 0 年未満	20	15.7%
5. 1 0 年以上 2 0 年未満	30	23.6%
6. 2 0 年以上 3 0 年未満	16	12.6%
7. 3 0 年以上	43	33.9%
無回答	8	6.3%
総計	127	100.0%

問5. 活動の分野として当てはまるものはどれですか。		
(あてはまるもの全てを選択)	実数 (件)	%
1. 保健、医療、福祉	42	33.1%
2. 社会教育	22	17.3%
3. まちづくりの推進	36	28.3%
4. 観光の振興	8	6.3%
5. 農山漁村又は中山間地域の振興	4	3.1%
6. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	39	30.7%
7. 環境の保全	24	18.9%
8. 災害救援	21	16.5%
9. 地域安全	35	27.6%
10. 人権の擁護又は平和の推進	6	4.7%
11. 国際協力	3	2.4%
12. 男女共同参画	13	10.2%
13. 子どもの健全育成	42	33.1%
14. 情報化社会の発展	3	2.4%
15. 科学技術の振興	2	1.6%
16. 経済活動の活性化	2	1.6%
17. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援	4	3.1%
18. 消費者保護	3	2.4%
19. NPO 活動支援	5	3.9%
20. その他 (以下)	16	12.6%
・自治会活動(2)		
・フレール期の健康寿命延進活動 友愛活動 (支え合い活動) (1)		
・心身の健康と人のつながり(1)		
・登下校の見守り、危険箇所のパトロール(1)		
・途上国の妊産婦と女性を守る活動団体へのお手伝い(1)		
・ごみ減量 (生ゴミリサイクル、優良堆肥化) C o2 削減循環型社会へな寄与(1)		
・お年寄との交流 居場所(1)		
・慰問(1)		
・会員の健康促進と友愛活動 地域の親睦、奉仕活動(1)		
・施設慰問(1)		
・地域の居場所(1)		
・聴覚障害者への理解と手話の普及(1)		
・料理(1)		
・老人施設でのボランティア(1)		
・地域活性化(1)		
無回答	3	2.4%
総計	127	100.0%

問 6.a 活動内容としてあてはまるものはどれですか（主なもの 1 つを選択）	実数（件）	%
1. 会員同士の親睦・交流	33	26.0%
2. スキルの習得や練習、成果の発表	13	10.2%
3. 無償のボランティア活動	27	21.3%
4. 有償のサービスの提供	1	0.8%
5. 地縁により組織された団体による活動（自治会、町内会等）	34	26.8%
6. 非営利の講演会、講座、イベント	12	9.4%
7. ソーシャルビジネス	0	0.0%
8. その他（以下） ・会員各人の健康保持のため(1) ・指定管理業務(1) ・施設慰問(1)	3	2.4%
無回答	4	3.1%
総計	127	100.0%

問 6.b 活動内容としてあてはまるものはどれですか （あてはまるもの全てを選択）	実数（件）	%
1. 会員同士の親睦・交流	82	64.6%
2. スキルの習得や練習、成果の発表	34	26.8%
3. 無償のボランティア活動	52	40.9%
4. 有償のサービスの提供	4	3.1%
5. 地縁により組織された団体による活動（自治会、町内会等）	42	33.1%
6. 非営利の講演会、講座、イベント	28	22.0%
7. ソーシャルビジネス	10	7.9%
8. その他（以下） ・視覚障害者の理解(1) ・心身の健康をつくる(1) ・居場所提供、情報交換(1)	3	2.4%
無回答	39	30.7%
総計	127	100.0%

問 7. 主な活動地域を教えてください（主なもの 1 つを選択）	実数（件）	%
1. 自治会区域内	52	40.9%
2. 小学校区域内	7	5.5%
3. 湖西市内	56	44.1%
4. 近隣市を含む地域	5	3.9%
5. その他（以下） ・ボランティア活動室(1) ・看護施設(1) ・湖西市内がコロナで×というので、浜松市西部にて活動しています。(1) ・新居文化公園 パラ園(1) ・西部地域センター(1) ・病院、介護施設(1)	6	4.7%
無回答	1	0.8%
総計	127	100.0%

問 8. 活動で使用している施設や活動場所を教えてください (あてはまるものを全てを選択)		
	実数 (件)	%
1.会員の自宅	15	11.8%
2.団体の事務所	23	18.1%
3.上記 1. 2 以外の民間施設	11	8.7%
4.新居地域センター	14	11.0%
5.西部地域センター	28	22.0%
6.湖西市民活動センター「エミーナ」	7	5.5%
7.上記 4～6 以外の公共施設 (以下)	38	29.9%
・おぼと(9)		
・南部構造改善センター (7)		
・ふれあい交流館 (5)		
・北部多目的センター (4)		
・老人福祉センター (2)		
・新所幼稚園(2)		
・おちばの里親水公園(2)		
・鷺津公園(1)		
・アメニティプラザ(1)		
・湖西運動公園他(1)		
・新居文化公園(1)		
・防災センター(1)		
・岡崎小学校(1)		
・新居体育館(1)		
8.その他(以下)	60	47.2%
・自治会、町内会の施設 (45)		
・高齢者施設、介護施設 (6)		
・三ヶ日青年の家(1)		
・浜名特別支援学校(1)		
・地域全体(1)		
・浜松市立青少年の家(1)		
・湖西高校(1)		
・浜松市ふれあいセンター湖南荘(1)		
・浜松市ふれあいセンター可美荘(1)		
・なぎさ作業所(1)		
・湖西地域職業訓練センター(1)		
無回答	2	1.6%
総計	127	100.0%

問 9.活動で使用している施設や活動場所は十分だと思いますか (1 つを選択)		
	実数 (件)	%
1. 十分だと思う ⇒問 1 1 へ	101	79.5%
2. 不十分だと思う ⇒問 1 0 へ	22	17.3%
無回答	4	3.1%
総計	127	100.0%

問 10. 問 9. で「2. 不十分」と答えた方にお聞きます。		
不十分だと思う理由を教えてください	実数 (件)	%
1. 駐車場が広い活動場所が必要	5	22.7%
2. コロナ対策ができる広い活動場所が必要	4	18.2%
3. 公共交通機関で通える活動場所が必要	3	13.6%
4. その他 (以下)	9	40.9%
・コロナ対策ができる広い活動場所が必要。不十分な為、私の機材または機器を持ち込み行っている。(1)		
・演奏の発表をできる反響板のあるホールや舞台がない(1)		
・高齢化が進み歩行困難な人が多く空き家の利用で居場所創り及び移動支援(1)		
・子供の活動場所の制約が多すぎる。キャッチボール等禁止。自転車乗り入れ禁止など。(1)		
・専用の施設(1)		
・選択肢①と②を選択(1)		
・地域課題に取り組む活動に使用しても有料(100%)であること。(1)		
・放送設備(1)		
・防災避難所としての設備が不十分(1)		
無回答	1	4.5%
総計	22	100.0%

問 11 a. 年間の概ねの事業予算 (収入) を教えてください。	実数	%
5 万円未満	22	17.3%
5 万円以上 10 万円未満	4	3.1%
10 万円以上 30 万円未満	26	20.5%
30 万円以上 100 万円未満	26	20.5%
100 万円以上 500 万円未満	11	8.7%
500 万円以上 1000 万円未満	9	7.1%
1000 万円以上	13	10.2%
無回答	16	12.6%
総計	127	100.0%

問 11 b. 年間の概ねの事業予算 (支出) を教えてください。	実数	%
5 万円未満	22	17.3%
5 万円以上 10 万円未満	4	3.1%
10 万円以上 30 万円未満	25	19.7%
30 万円以上 100 万円未満	25	19.7%
100 万円以上 500 万円未満	12	9.4%
500 万円以上 1000 万円未満	9	7.1%
1000 万円以上	13	10.2%
無回答	17	13.4%
総計	127	100.0%

問 1 2 . 団体の運営のための収入源を教えてください（あてはまるものを全てを選択）		
	実数（件）	%
1. 会費	105	82.7%
2. 民間からの助成金	13	10.2%
3. 事業収益	10	7.9%
4. 寄附	17	13.4%
5. 行政からの補助金・助成金	64	50.4%
6. 業務委託費（行政からの業務委託など）	15	11.8%
7. その他（以下）	17	13.4%
・自治会からの助成金(5)		
・神社(1)		
・赤い羽募金を使用(1)		
・イベント参加による収入（売上）(1)		
・介護者の会からの残金を利用し、活動しています(1)		
・活動費は0円(1)		
・個人の物を使用している。(1)		
・地域福祉会より助成(1)		
・社会福祉協議会のボランティア保険に加入(1)		
・入場料(1)		
・浜名特別支援学校へ納めた拡大本の材料費(1)		
・町内会助成金(1)		
・土地・建物賃貸金(1)		
無回答	4	3.1%
総計	127	100.0%

問 1 3 . 今後、増やしていきたい収入源を教えてください（あてはまるものを全てを選択）		
	実数（件）	%
1. 会費	22	17.3%
2. 民間からの助成金	9	7.1%
3. 事業収益	8	6.3%
4. 寄附	8	6.3%
5. 行政からの補助金・助成金	34	26.8%
6. 業務委託費（行政からの業務委託など）	10	7.9%
7. 特にない	57	44.9%
8. その他（以下）	2	1.6%
・西部地域センターの部屋代無料を希望（手話の普及のため）(1)		
・支出を減らす(1)		
無回答	10	7.9%
総計	127	100.0%

問 1 4 . 民間の助成金を申請したことがありますか（1 つを選択）		
	実数（件）	%
1. ある	27	21.3%
2. ない	97	76.4%
無回答	3	2.4%
総計	127	100.0%

問 1 5 . 民間の助成金についての情報を入手していますか（あてはまるもの 1 つを選択）		
	実数（件）	%
1. 入手している ⇒ 問 1 6 へ	42	33.1%
2. 入手していない ⇒ 問 1 7 へ	81	63.8%
無回答	4	3.1%
総計	127	100.0%

問 1 6 . 問 1 5 で「入手している」を選ばれた方は、どのように入手していますか（あてはまるもの全てを選択）		
	実数（件）	%
1. インターネット情報	19	45.2%
2. 友人から	5	11.9%
3. NPO 法人から	7	16.7%
4. 社会福祉協議会から	25	59.5%
5. その他（以下）	8	19.0%
・自治会より(2)		
・グリーンバンクに申請(1)		
・県の間接支援組織から 会員・協力者から(1)		
・商工会、コラボりん(1)		
・区からの助成(1)		
・市の所管部署から(1)		
・会員からの情報(1)		
総計	42	100.0%

問 1 7. 活動の中心メンバーの現在の課題は何ですか		
(あてはまるもの全てを選択)	実数 (件)	%
1. 特定の人に負担が集中している	46	36.2%
2. 高齢化している	80	63.0%
3. 世代交代を考えているがなり手がいない	54	42.5%
4. 必要な能力が不足している	11	8.7%
5. 有給職員を雇う資金がない	11	8.7%
6. 特に課題はない	21	16.5%
7. その他 (以下)	12	9.4%
・コロナで活動が中止(1)		
・活動のプログラムを作ってから体調不良や急用で参加出来ないとされると予定でくってしまうのが 1 番困っている。(1)		
・今後の役員の選任に毎年苦勞している(1)		
・子どもが忙しくて活動に参加できない(1)		
・団体規模が大きく、なり手が少ない。(1)		
・役員確保が難しい(1)		
・会員で常時活動できる人は 5 人位。人手を要する作業の時は臨時に手伝いをお願いしてもう少し会員を増やしたい。(1)		
・会員数が少ない(1)		
・参加者の減少(1)		
・福祉機器の発達により、学校からの拡大本の依頼が少なくなった。(1)		
・世代交代が進む中で、NPO 活動全体についての知識不足(1)		
・人数が減っている(1)		
無回答	1	0.8%
総計	127	100.0%

問 1 8.a 団体の活動について困った時に相談に行くところがありますか		
(あてはまるもの 1 つを選択)	実数 (件)	%
1. ある (問 1 8.b へ)	49	38.6%
2. ない、わからない (問 1 9 へ)	34	26.8%
3. 相談する必要は感じない (問 1 9 へ)	39	30.7%
無回答	5	3.9%
総計	127	100.0%

問18.b 問18.a で「ある」を選ばれた方は、差し支えない範囲で相談先を記入してください

前・元会長、前・元役員 (5)

湖西いきいきクラブ連合会事務局(3)

市役所(3)

自治会(2)

スポーツ生涯学習課(2)

市民課(2)

地区連合自治会(2)

社会福祉協議会(2)

行政の担当者(2)

危機管理課(1)

健康福祉部 高齢者福祉課(1)

県の NPO 活動センター(1)

これまでの活動で出会った他の活動団体（市内外）(1)

連合会(1)

湖西市商工会(1)

湖西文化協会(1)

行政(1)

組織の会長等(1)

市の行政窓口で相談に行くが市職員は忙しい事の理由(煩わしい事は対応しない) で解決策の対応しない(1)

市外の先行している先輩方(1)

市民活動の先輩(1)

近隣の自治会(1)

先輩方々(1)

他組織(1)

団体本部(1)

役所関係(1)

湖西市議の方々(1)

顧問や歴代自治会役員経験者(1)

前 O.B.等(1)

市の所管部署(1)

その他(2)

問 19. 団体の活動を進める中で、困っていること、必要なことがあれば教えてください

Ⅱ 調査結果の分析に掲載のため省略

問 20. 団体の今後について、どのように描いていますか

(あてはまるもの 1 つを選択)

	実数 (件)	%
1. 会員が増えて、活動も発展している	9	7.1%
2. 会員はそのままだが、活動は発展している	6	4.7%
3. 会員は増えるが、活動は現状を維持している	5	3.9%
4. 会員や活動規模は現状を維持している	48	37.8%
5. 会員規模はそのままだが、活動は減少している	14	11.0%
6. 会員は減るが、活動は現状を維持している	20	15.7%
7. 会員や活動規模は縮小している	18	14.2%
8. 活動を終了している	1	0.8%
9. その他 (以下)	4	3.1%
・活動終了する予定 (会員減少のため) (1)		
・現在改革中 会員全員で改革を推進 1～2 年後には 地域に必要な団体としての存在になる(1)		
・分割の必要性が考えられる。(1)		
・役員が毎年変わるので方向性はわからないが、6 か 8 のどちらかと思われる(1)		
無回答	2	1.6%
総計	127	100.0%

問 2 1. 団体の活動を知ってもらうための情報発信はどのようにしていますか (あてはまるもの全てを選択)		
	実数 (件)	%
1. ウェブサイト、ホームページ、ブログなどを作って行っている	22	17.3%
2. Facebook や Twitter などのソーシャル・ネットワーク・サービスを使っている	15	11.8%
3. 活動を湖西市の広報紙に掲載	18	14.2%
4. 活動を回覧板に掲載	38	29.9%
5. 行っていない	43	33.9%
6. その他 (以下)	21	16.5%
・チラシを作成してイベントなどがあるときに配布している(1)		
・バラが美しく咲く時期に新聞への掲載をお願いしている(1)		
・新聞等に掲載(1)		
・ボランティア冊子を活用(1)		
・回覧板(1)		
・活動を地域に知ってもらい、希望者を受け入れている。(1)		
・活動報告会(1)		
・社協が出している「ボランティアネットワーク」に掲載(1)		
・情報誌の発行 (さざなみ会だより)(1)		
・西部地域センター祭りで作品展示と会員募集広告を展示する。(1)		
・地域センターの掲示板にビラをはる(1)		
・中日新聞・静岡新聞にて活動内容を取り上げてもらっています。又、カラオケ新聞 (エース・スポット) という新聞にも取り上げてもらっている。(1)		
・通信発行(1)		
・定員確保の為に知り合い等に勧誘している。(1)		
・日頃の生活の中で情報等は伝えている。(1)		
・誘い(1)		
・老人クラブの役員が出欠を聞き取りする(1)		
・新聞社への情報提供 県の市民活動 Web サイトへの掲載 他の地域のパートナーシップミーティングへの参加 など(1)		
・独自の広報紙を発行している(1)		
・広報誌「三ツ谷あれこれ」で活動内容を紹介している。(1)		
・関心を持ってもらえるように声かけをしています(1)		
無回答	2	1.6%
総計	127	100.0%

問 2 2 . 団体の活動をよりよくするために工夫していることがあれば教えてください い（あてはまるもの全てを選択）		
	実数（件）	%
1. 同じような活動をしている団体との交流会に参加する	44	34.6%
2. 専門家からのアドバイスをもらう	12	9.4%
3. 会員同士の話し合い	81	63.8%
4. 視察	17	13.4%
5. 特にない	29	22.8%
6. その他（以下）	9	7.1%
・目的は団体がその地域に必要な存在になる為に何をなすべきかに取り組む(1) ・技術（マジック）講習会の参加(1) ・視覚支援学校の行事に出席して交流している(1) ・勉強会等に参加したり会員にも情報を知らせる(1) ・できるだけ役員の負担を少なくするようにしている。(1) ・女性を役員メンバーに起用している(1) ・常時会員募集を呼びかける(1) ・年 3 回のたよりの発行(1) ・他団体のイベントに協力しお互いに協力し合う(1)		
総計	127	100.0%

※「コロナウイルスで(1)は現在出来ない」（１）の回答の但し書きとして

問 2 3 . 湖西市の市民活動推進施策について、知っているものを教えてください い（あてはまるもの全てを選択）		
	実数（件）	%
1. 市民活動相談	24	18.9%
2. 湖西市民活動センターエミナ登録	26	20.5%
3. 湖西市文化の香るまちづくり事業補助金	32	25.2%
無回答	81	63.8%
総計	127	100.0%

2 3（１）. 市民活動相談について自由にご意見をお聞かせください。
Ⅱ 調査結果の分析に掲載のため省略

2 3（２）. 湖西市民活動センターエミナ登録について自由にご意見をお聞かせください。
Ⅱ 調査結果の分析に掲載のため省略

2 3（３）. 湖西市文化の香るまちづくり事業補助金について自由にご意見をお聞かせください。
Ⅱ 調査結果の分析に掲載のため省略

湖西市市民活動に関する実態調査票

*** ご協力をお願い ***

市民活動団体の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、皆様の活動を取りまく状況や考えをお聞きし、今後湖西市が行う市民活動支援の参考とするため、実態調査を実施させていただくことになりました。

この調査の結果は、今後の湖西市が行う市民活動支援に関する参考の目的のみに使用するものであり、他の目的に使用したり内容についてご迷惑をおかけすることは決してありません。

なお、この調査の実施は令和3年度湖西市市民活動推進業務として、調査票の作成、送付の一部、回収、集計、報告書作成を令和3年度湖西市市民活動推進業務受託者である特定非営利活動法人コラポリん湖西に委託して行いますが、頂いた回答は適切に管理し、上記目的のみに使用いたします。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和3年7月 湖西市長 影山 剛士

*** 記入にあたってのお願い ***

- 1 回答は、令和3年7月1日現在の状況をご記入ください。
- 2 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 3 「その他」を選択した場合は、()内に具体的な内容も記入してください。
- 4 ご記入後は9月7(火)までに同封の封筒でご投函ください。(切手不要)

なお、湖西市市民課、湖西市スポーツ・生涯学習課、西部地域センター、湖西市社会福祉協議会(おぼと2階)へ直接提出いただくことも可能です。

- 5 Googleフォームで回答することもできます。紙の調査票またはGoogleフォームのどちらか一方を選んで回答してください。

<https://forms.gle/FgqCfqPDxrCQuLRS6>



問合せ先：湖西市市民安全部市民課

〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地

(TEL) 053-576-1213 (FAX) 053-576-4880

1. 貴団体について

問1. 団体の分類を教えてください (あてはまるもの 1つを選択)

1. NPO法人
2. 任意団体
3. 公益活動団体
4. サークル
5. ボランティアグループ
6. 地縁団体 (自治会、町内会、いきいきクラブ、子ども会等)
7. その他 ()

問2. 会員数を教えてください (あてはまるもの 1つを選択)

1. 5人未満
2. 5人以上10人未満
3. 10人以上30人未満
4. 30人以上50人未満
5. 50人以上

問3. 会員の中でもっとも人数が多い年代を教えてください (あてはまるもの 1つを選択)

1. 10代以下
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80代以上

問4．活動を始めた時期を教えてください

年 月～

または（あてはまるもの1つを選択）

- 1．1年未満
- 2．1年以上3年未満
- 3．3年以上5年未満
- 4．5年以上10年未満
- 5．10年以上20年未満
- 6．20年以上30年未満
- 7．30年以上

問5．活動の分野として当てはまるものはどれですか（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1．保健、医療、福祉 | 11．国際協力 |
| 2．社会教育 | 12．男女共同参画 |
| 3．まちづくりの推進 | 13．子どもの健全育成 |
| 4．観光の振興 | 14．情報化社会の発展 |
| 5．農山漁村又は中山間地域の振興 | 15．科学技術の振興 |
| 6．学術、文化、芸術又はスポーツの振興 | 16．経済活動の活性化 |
| 7．環境の保全 | 17．職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援 |
| 8．災害救援 | 18．消費者保護 |
| 9．地域安全 | 19．NPO活動支援 |
| 10．人権の擁護又は平和の推進 | 20．その他（ ） |

問6．活動内容として当てはまるものはどれですか（主なもの1つに◎、またあてはまるもの全てに○）

- 1．会員同士の親睦・交流
- 2．スキルの習得や練習、成果の発表
- 3．無償のボランティア活動
- 4．有償のサービスの提供
- 5．地縁により組織された団体による活動（自治会、町内会等）
- 6．非営利の講演会、講座、イベント
- 7．ソーシャルビジネス
- 8．その他（ ）

2. 活動場所について

問7. 主な活動地域を教えてください (主なもの 1つを選択)

1. 自治会区域内
2. 小学校区域内
3. 湖西市内
4. 近隣市を含む地域
5. その他 ()

問8. 活動で使用している施設や活動場所を教えてください (あてはまるもの 全てを選択)

1. 会員の自宅
2. 団体の事務所
3. 上記1～2以外の民間施設
4. 新居地域センター
5. 西部地域センター
6. 湖西市民活動センター「エミーナ」
7. 上記4～6以外の公共施設 (名称 :)
8. その他 (名称 :)

問9. 活動で使用している施設や活動場所は十分だと思いますか (1つを選択)

1. 十分だと思う ⇒問11へ
2. 不十分だと思う ⇒問10へ

問10. 問9. で「2. 不十分」と答えた方にお聞きします。

不十分だと思う理由を教えてください

1. 駐車場が広い活動場所が必要
2. コロナ対策ができる広い活動場所が必要
3. 公共交通機関で通える活動場所が必要
4. その他 ()

3. 活動資金について

問 1 1 . 年間の概ねの事業予算を教えてください

年間収入_____円

年間支出_____円

問 1 2 . 団体の運営のための収入源を教えてください (あてはまるもの全てを選択)

- 1 . 会費
- 2 . 民間からの助成金
- 3 . 事業収益
- 4 . 寄附
- 5 . 行政からの補助金・助成金
- 6 . 業務委託費 (行政からの業務委託など)
- 7 . その他 (具体的に : _____)

問 1 3 . 今後、増やしていきたい収入源を教えてください (あてはまるもの全てを選択)

- 1 . 会費
- 2 . 民間からの助成金
- 3 . 事業収益
- 4 . 寄附
- 5 . 行政からの補助金・助成金
- 6 . 業務委託費 (行政からの業務委託など)
- 7 . 特にない
- 8 . その他 (具体的に : _____)

問 1 4 . 民間の助成金を申請したことがありますか (1つを選択)

- 1 . ある
- 2 . ない

問 1 5 . 民間の助成金についての情報を入手していますか (あてはまるもの1つを選択)

- 1 . 入手している ⇒ 問 1 6 へ
- 2 . 入手していない ⇒ 問 1 7 へ

1. インターネット情報
2. 友人から
3. NPO法人から
4. 社会福祉協議会から
5. その他 ()

問17. 活動の中心メンバーの現在の課題は何ですか（あてはまるもの全てを選択）

1. 特定の人に負担が集中している
2. 高齢化している
3. 世代交代を考えているがなり手がいない
4. 必要な能力が不足している
5. 有給職員を雇う資金がない
6. 特に課題はない
7. その他 ()

1. ある（相談先：（差し支えない範囲で記入してください））
2. ない、わからない
3. 相談する必要は感じない

--

問20. 団体の今後について、どのように描いていますか (あてはまるもの1つを選択)

1. 会員が増えて、活動も発展している
2. 会員はそのままだが、活動は発展している
3. 会員は増えるが、活動は現状を維持している
4. 会員や活動規模は現状を維持している
5. 会員規模はそのままだが、活動は減少している
6. 会員は減るが、活動は現状を維持している
7. 会員や活動規模は縮小している
8. 活動を終了している
9. その他 ()

問21. 団体の活動を知ってもらうための情報発信はどのようにしていますか (あてはまるもの全てを選択)

1. ウェブサイト、ホームページ、ブログなどを作って行っている
2. FacebookやTwitterなどのソーシャル・ネットワーク・サービスを使っている
3. 活動を湖西市の広報紙に掲載
4. 活動を回覧板に掲載
5. 行っていない
6. その他の方法 (具体的に:)

問22. 団体の活動をよりよくするために工夫していることがあれば教えてください (あてはまるもの全てを選択)

1. 同じような活動をしている団体との交流会に参加する
2. 専門家からのアドバイスをもらう
3. 会員同士の話し合い
4. 視察
5. 特にない
6. その他 ()

5. 湖西市の市民活動推進施策について

問23 湖西市の市民活動推進施策について、知っているものを教えてください（あてはまるもの全てを選択）。また、それぞれについて、自由にご意見をお聞かせください。

1. 市民活動相談
2. 湖西市民活動センターエミナ登録
3. 湖西市文化の香るまちづくり事業補助金

1. 市民活動相談について自由にご意見をお聞かせください。

2. 湖西市民活動センターエミナ登録について自由にご意見をお聞かせください。

3. 湖西市文化の香るまちづくり事業補助金について自由にご意見をお聞かせください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。